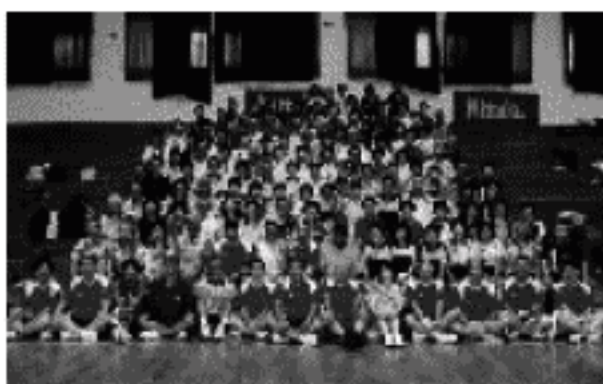


シリーズ素顔	2
福原 愛(ANA)	
カラー 特集	4
第16回日本リーグビッグトーナメント	
カラー ハイライト	6
日刊スポーツ・ニッターカ杯ラージボール大会	
グラビア 特集	10
第16回日本リーグビッグトーナメント	
大会ハイライト	12
全国高校選抜大会	
大会ハイライト	14
全国中学校選抜大会	
大会ハイライト	16
全国ホープス選抜大会	
大会ハイライト	18
日刊スポーツ・ニッターカ杯ラージボール大会	
アスリートファイル	20
張一博(東京アート)	
日本の肖像	22
斎藤一也(テレビ東京アナウンサー)	
この人のこの言葉	24
藤井基男(卓球愛好家)	
練習のヒント	26
織部幸治(ITS三鷹代表)	



4月21～22日までグアムで行われたラージボール大会の参加者

気ままにタイムアウト	28
佐藤正喜(日産自動車監督)	
マンガ	30
花丸たつきゆう/高橋達央	
記事広告	34
ラバー/ハモンドX	
合宿レポート	45
東京富士大学春季富山合宿	
各地ラージボール大会	46
第5チャンネル	36
ピンポン東西南北	38
各地レポート	39
みんなのコーナー	48
編集室	48

表紙撮影 安部俊太郎

Message

昨年につづき、グアム島を訪問した。

目的は、2007コモンズカップ・グアムラージボール大会の参加・取材と運営のお手伝い。

日本から130名ほどが参加。昨年は関東からの参加者が多かったが、今年は関東、東海、関西、中国、九州とバランスよくばらけた。これは、隅々までラージボールが浸透してきたからといえる。

現地から、大会副委員長の濱本久允さんら20名ほどの人が参加をした。昨年との違いは、各参加者とも数段レベルアップをしていたことである。特に濱本さんとグアムNo.1のキムさんは、ラージボールの特徴をよく理解し、ていねいなプレーと強打の使い分けが光っていた。

大会前の組み合わせやプロ作成、また当日の運営は、

石塚先生、平井さん、コモンズの沼田さん、村上さん、片岡さんらが担当、進行は日本卓球協会の白川事務局長がほとんどお一人で担当された。しかし、タイムテーブル通りに進むなど、スムーズな進行は見事であった。事前準備がしっかりしていたからである。

掲示、お弁当、送迎等の手配は、日本旅行の社員が当たり、閉会式後の後片付け等は、グアムの参加者が担当した。各自が役割分担をよく理解し、協力しあったことで、調和のとれた素晴らしい大会となった。

グアム政府観光局が来年も支援することになっている。日本のみならず、韓国、中国、台湾などからも参加者が集まれば、インターナショナルなラージボール大会に発展する可能性がある。(片野)